

【校訓】

かしこく
なかよく
たくましく

学校だより

鹿児島市立吉野東小学校

令和6年2月22日発行 No.10

「宿題」について考える

校長 下松勝浩

この時期は毎年、1年間を振り返って学習のことや生徒指導のことなどについて、先生方一人一人とお話しする機会を設けています。

そこでよく話題となるのが、学級内の「学力差」についてです。先生方は、子どもたちに学力を付けようと様々な工夫をしながら取り組んでくださっていますが、なかなか「学力差」が縮まらないことに悩んでおられます。

そこで、私は、同じ学級でも、学力差があることは「あたり前」だと話します。問題なのは学力差があることではないと話します。「運動能力は差があってもしかたがないけれど、学力には差がでるのはよくない」と思いがちですが、どちらも同じです。大人でも、文章力のある人とない人の差が大きいのも同じです。

できる子とそうでない子の間に大きな差があっても別に問題はありません。問題なのは、差があることではなく、できるべきことができていることにあると考えます。

たとえ学力差は縮まらなくても、その学年で身に付けるべき基礎学力はちゃんと全員に身に付けさせることが大事です。中でも、基礎学力のベースとなる「計算力」と「漢字」、そして「作文力=書く力」はとくに重要です。

そしてこの3つの力を身に付けるには、たくさんの勉強法はあるけれど、結局はある程度何度も何度も、繰り返し取り組ませるしかありません。逆に言えば、数をこなせば誰でもできるようになる。

これは運動でも同じです。足の速い子はやっぱりたくさん外で遊んで走っていますし、足の遅い子は圧倒的に走る回数が少ないです。

どうやって計算や漢字、作文に取り組む回数を増やしていくかを考えると、家庭学習とくに「宿題」がカギになると考えています。例えば、毎日の計算練習、くり返しやらせていくと、計算ミスが激減しますし、計算力だけでなく、瞬発力や集中力もアップして、学習全般に効果が現れます。

子どもたちの中には、「宿題なんてやる意味がない」と思ってやってこない子、いい加減に取り組んでいる子が少なくありませんが、自立して学習や仕事に取り組む態度や習慣、スキルなどの自己学習力と基礎学力を身に付けさせるためには、「宿題」をすることが、とても大事だと考えます。

今、学校では、基礎学力の確実な定着と保護者、教職員の負担軽減の視点から、宿題の内容、方法について検討しています。新年度には、「家庭学習（宿題）の進め方」をお示しできると思います。今日は、ぜひ子どもさんと宿題について話をしてみてください。

※ 次ページに、令和5年度鹿児島県学力定着度調査結果をお示ししました。子どもたち一人一人のがんばりと授業改善に向けた職員の取組が県平均を上回るという結果に現れました。保護者の方々のご協力にも感謝いたします。



学校給食指導旬間

子供たちがこれまでに取り組んだ学校給食旬間の作品展示を行いました。日頃の給食へ寄せる思いであったり、給食調理員の皆さんへの感謝の思いであったり、それぞれの学年で各々の思いを綴った作品が並びました。食を通して、感謝の気持ちを表現することができていました。こうした取組を通して、「食べることの大切さ」を子供たちに感じ取ってもらいたいです。



鹿児島学習定着度調査の結果について

5年生を対象に1月に実施した鹿児島学習定着度調査結果についてお知らせします。今年度は、県平均結果との通過率を比較した場合、理科（惜しい！0.2P）を除いた教科で県平均を上回る結果となりました。この結果を受けて、学校では更なる課題については今後の対策を検討し、子供たちの学力向上に向けて全職員で努力を重ねていきます。



【鹿児島定着度調査通過率比較】

	本校	県平均
国語	70.1	68.5
社会	67.6	65.3
算数	75.9	74.6
理科	75.2	75.4

キャリア教育について 6年

1月31日（水）、6年生を対象とした職業講話を行いました。県内で活躍されている方からお話を聴き、子供たちの仕事への興味・関心を喚起し、職業観の育成を図るとともに、将来の自分をイメージして今の自分を見つめ直す機会として、毎年実施しています。

今回は、MBCニュースキャスター「佐々木武海」さんをお招きして、アナウンサーの仕事について、お話をさせていただきました。このお話では、講師の方の体験に基づく具体的なお話を聞くことができました。これからは、ニュースを見る子供たちも、佐々木さんのお話を思い出しながら、世の中の出来事について思いを巡らせるようになって欲しいと思います。

中学校の先生に教えてもらったよ 6年

2月7日（水）に、吉野東中学校の先生が本校に来られ、6年生に英語と体育の授業をしてくださいました。入学説明会の時に、授業参観をさせていただきましたが、今回は、一緒に授業を行うことで、わずかではありますが、中学校の様子を感じ取ることができたものと思われます。

また、中学校の先生方におかれても、小学校での学習の様子や子供たちの様子を知ることができたようです。

縄跳びオリンピック

3学期は、始業前の体力づくりの時間や体育の学習を中心に、子供たちが縄跳びに励む姿が多く見られました。2月は「なわとび月間」として重点的に取り組み、各学年で「縄跳びオリンピック」が開かれ、自分ベストを出そうと必死に取り組む子供たちの様子が見られました。

学校保健委員会・姿勢教室 5年

2月15日（木）は、外部講師を招いて「姿勢」に関する講話と実演を行いました。「立つ」「座る」の良い姿勢について、実際に動きを入れながらお話をさせていただきました。普段私たちがいわゆる「良い姿勢」と思っていた姿勢は、「きれいな」姿勢であり、必ずしも「正しい」姿勢ではないようです。参加された保護者の方々にもたいへん有意義な時間となったものと思います。成長途中の子供たちにとっては、この時間に学んだ姿勢を意識して、生活を送ってもらいたいものです。



今後の行事予定

【3月】

- 1日（金）特別支援学級閉級式・学級PTA
- 5日（火）第4回学校運営協議会
- 8日（金）6年生を送る会・お別れ遠足
- 15日（金）卒業式予行
- 22日（金）第43回卒業式
- 25日（月）修了式・離任式（1～5年）
- 春休み3/26（火）～4/5（金）



【4月】

- 8日（月）新任式・1学期始業式・入学式
- ※ 4月の主な行事については、年度末学級PTA資料にも掲載いたします。

講師の紹介

_____教諭の代替として、1月22日より、_____講師が着任いたしました。_____年組の子供たちと共に学習に取り組んでいます。